

# つどえ! 鹿踊の庭

Come together!

SHISHIODORI no NIWA

風に揺れる木々や竹林を思わせる長いササラ、  
神様でもある鹿を象った凛々しい頭、  
峠を越えて響く太鼓、  
住田の風景を詠んだ歌、  
大鹿のような迫力ある動き。  
世代や土地を超えて踊りと想いを渡していく営み。  
その営みを通して、土地の匂い、手触り、文化に触れられること。それが、私が柿内沢鹿踊に感じる魅力です。  
別の言い方をすると、  
サイコーにかっこよくておもしろい!そんな魅力を一緒に味わって欲しくて、ささやかな会を開きます。  
ぜひ、みて、さわって、踊って、ハマってってください。

仲間たち 清水穂奈美

三陸のひと・芸能・風土と出会うアーティスト・イン・レジデンスとは?

三陸で生まれた多彩な郷土芸能を活かし、アーティストと地域が交流する企画です。アーティストが地域に滞在し、郷土芸能や文化を学びながら、その成果を地域で発表します。

やってみよう!

鹿踊の練習を見学してみませんか?

3月22日(土)~28日(金)まで鹿踊の練習を住田町内で行います。ぜひ見学してみませんか?詳しくはInstagramをご覧ください。



会場は役場の1階

住田町役場庁舎 町民ホール

〒029-2396 岩手県気仙郡住田町世田米字川向88-1

アクセス

- JR東北新幹線水沢江刺駅から車で約45分
- JR釜石線上有住駅から車で約30分
- いわて花巻空港から車で約60分
- 東北横断自動車道釜石秋田線宮守ICから車で約30分
- 大船渡市・陸前高田市から車で約20分

一緒に踊って感じる  
たのしい!おもしろい!  
かっちょいい!

プロフィール



## 行山流山口派 柿内沢鹿踊保存会

寛永年間(1627年)旧世田米村の肝入に登戸屋敷弥市が古文書に見えている其の頃、登戸屋敷加蔵の代、寛政の初め(1789年)に矢作村馬越より伝授されたのが始まりだと云われております。加蔵は若くして妻を失い、愛児一人と馬一頭が残されました。遠方にくれていましたが、馬を売って矢作村に行き、鹿踊りを習い、皆伝を受けて帰宅し、妻の霊前で踊りました。行山流山口派に属し、当町では活発で勇壮な動きをする踊りとして、藩政中期より伝承されています。



## 清水 穂奈美(俳優)

演劇カンパニー・かもめマシーンに所属。気功や太極拳などの思想・方法を取り入れながら、身体性を重視した演技・パフォーマンスを行う。2016-2018年、ロンドン拠点のダンサー・振付家ショーネッド・ヒューズ(Sioned Huws)が主催するプロジェクト「Odori-Dawns-Dance」プロジェクトへ参加。



## 西井 裕美(俳優)

新国立劇場演劇研修所 6期修了生。2017年、個人ユニット『24EP』を発足。弾き語りでのライブ活動やピアノ演奏、作曲なども手掛ける。



## 木村 玲奈(振付家・ダンサー)

風土や言葉と身体の関係、人の在り方/生き方に興味をもち、国内外様々な土地で創作・上演を行う。2015-2018年「Odori-Dawns-Dance」プロジェクトへ参加。2019-2020年セゾン・フェロー I、2020年よりダンサー・WEBエンジニア・観察者・美術家・舞台制作者と共に「6steps」という団体を立ち上げ活動中。



## 伊藤 新(俳優)

1994年、劇団ダムアンを旗揚げ。現在は、かもめマシーンをメインに俳優としても出演するほか、舞台監督等を行う。